

# 利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所  
発行人 竹之内 篤  
〒378-0031 沼田市薄根町4412番地  
TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180  
E-mail : tonekyou@pref.gunma.lg.jp

## 「コロナ禍での子どもたちの学び」

利根教育事務所 管理主監 富田 孝

令和2年3月、緊急事態宣言が発令されてから6月当初までのおよそ3ヶ月間、小中学校では臨時休校となり、子どもたちは友達や先生との対面授業ができない状況を余儀なくされました。先生方は、子ども一人一人の家庭学習への対応や不安を抱える子どもへの精神的なケアにも当たる等、日々子どもたちを支えてくださいました。今年度は、「コロナ禍でも、学びを止めない」という言葉を耳にしましたが、学びを止めない、家庭学習の中で少しでも力を身に付けさせたいと考えて各学校では御指導いただきました。現在は、学校全体で感染防止対策を行いながら、子どもたちとの対面での学びを進めていただいておりますが、日々の学びを守るための先生方の御努力は、大変なものであると考えております。

先日、教育委員会訪問の際に、管理職の方から今年度の教育活動について「今年度は、模索する1年でした。」という話をお聞きしました。どんな学習や行事を行うにしても、常に「中止」か「見直し」かを迫られ、その都度時間をかけて検討を重ね、調整を進めてこられました。学校が再開された6月からは、再編された教育課程に沿って、どのように日々の学びを保障し、豊かな体験を積ませる中で子どもたちに力を付けていくのか、悩まれる日々であったと思います。先生方の御尽力には、改めて感謝申し上げます。

新年度からは、「ニューノーマル GUNMA CLASS PJ(小1、2は30人以下、小3～中3までは35人以下学級編制)」の実施や「GIGAスクール構想」の本格的な推進等、新たな施策に沿った取組を進めていきます。35人以下の少人数学級の中で、1人1台端末の活用を進めることが、子ども個々の力を伸ばしていくものとして、また、個々の豊かな学びを支えるものとして効果的に働くことを期待しています。

今年度も、残すところあとわずかとなりました。ワクチン接種が始まったとはいえ、まだまだ先の見通しが十分にもてない状況にあります。「ニューノーマル」と言われる新たな生活様式の中にあっても、子どもたちの学びを保障し、豊かな体験を積ませていくことは、常に大切にしなければならないものです。日々の確実な積み重ねが、子どもたちの大きな成長につながることを信じながら、着実に前進することのできる1年でありたいと願います。

## 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指したICTの効果的な活用に向けて

ICTについては、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するため、子どもや学校等の実態に応じ、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、教材・教具や学習ツールの一つとして積極的に活用することが求められています。

学校では、GIGAスクール構想による1人1台端末の整備により、子どもたちの手元に端末が届き、活用していくこととなります。これにより、学びの一層の充実と「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善につなげていくことが重要になります。

そこで、今回は、ICT活用促進プロジェクトの実践事例の紹介と、ICTの効果的な活用について情報提供します。

## “すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも” 使えるICT

子どもたちの情報活用能力の育成を図るために、1人1台端末を適切に活用した学習活動を充実させていくことが大切です。そのために文部科学省では、まず「“すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも” 使えるICT」を掲げ、主に以下の4点についての活用を想定しています。

### 【検索サイトを活用した調べ学習】

- 一人一人が情報を検索し、収集・整理する
- 子どもたち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する

### 【文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用】

- 子どもたち一人一人が考えをまとめて発表する
- 共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合う

### 【一斉学習の場面での活用】

- 誰もがイメージしやすい教材を提示する
- 一人一人の反応や考えを即時に把握しながら双方向的に授業を進める

### 【一人一人の学習状況に応じた個別学習】

- デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化する
- 様々な特徴をもった子どもたちによりきめ細やかな対応を行う



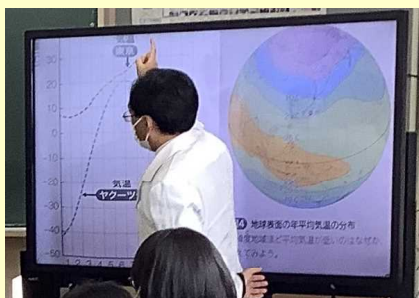
## 【実践事例】 ICT活用促進プロジェクト 川場中学校の紹介

授業でのICTの効果的な活用方法を探るため、管内では、川場中学校が実践推進校となり、研究に取り組んでいます。問題解決的な学習において、ICTを活用した学習場面を適切に位置付けることで、教科のねらいに迫るとともに、情報活用能力を身に付けることを目指しています。

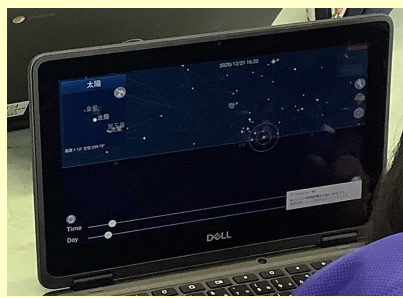
### ICTを活用した学習場面例

### 〈3年 理科 「地球と宇宙」〉

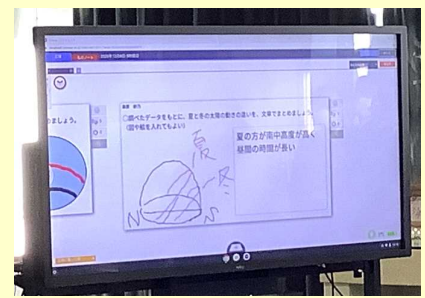
- A一斉学習：電子黒板を利用して、平均気温や昼夜の長さの変化を表したグラフを拡大提示することにより、季節の変化と太陽の関係について、子どもたちの気付きを促し、興味・関心を高めさせる。
- B個別学習：天体観測のシミュレーションを利用して、観測しにくい現象を可視化し、理解を深めさせる。
- C協働学習：協働学習用のソフトウェアを利用して、グループ内で意見交換させるとともに、グループの考えを全体で共有することで、思考力や表現力を身に付けさせる。



〈A電子黒板を利用した教材提示〉



〈B天体観測のシミュレーションを利用した個別学習〉



〈C協働学習用のソフトウェアを利用した全体交流〉

### 参観者の声

- 電子黒板やタブレットの活用により、生徒が主体的に学習に取り組む姿が見られた。
- 個別の考えを共有する方法として、協働学習用のソフトウェアの利用は有効である。
- 科学的な見方・考え方を働かせるために、直接体験することとシミュレーションを利用することを、場面に応じて使い分けることで、理科の学びをより深めることができるのではないか。

## 【情報提供】 各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について

文部科学省から出された「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について」には、概要説明と各教科における活用例が示されています。各教科において、どの学習場面で、どのように活用することができるのかを写真やグラフ等多用し、分かりやすくまとめてあります。また、各教科のページには、授業レベルでより具体的な活用例や、1人1台端末による学習等の効果も示されていますので、参考にしてください。

### 【各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について（文部科学省：令和2年9月）】

URL：[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/mext\\_00915.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00915.html)

### 【各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する解説動画（文部科学省：令和2年10月）】

URL：[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/mext\\_00941.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00941.html)

